

グループディスカッション ワークシート

グループ名: A

【テーマ】「武蔵野市における協議会の課題と目標
～5つの専門部会の活動報告を踏まえた今後の展望～」

ワーク1:「各部会の活動報告を受けて」

- ・各専門部会の活動について、リアルタイムの共有ができてよかった。
- ・部会ごとの課題が明確で取り組みやすかったように思う。
- ・コロナ禍でもそれぞれの問題・課題に向けて動かれていて感激した。
- ・今後、横（部会同士）の連携をどのように進めていくか、気になるところである。
- ・当時者部会の方がそれぞれの部会に参画していることが武蔵野市の大きな特徴であると思う。全体が見渡せる構造になっていることは、大変意義があると思っている。
- ・コロナの影響が大きかったのは間違いない。これから、コロナ前の支援・状態にどうやって戻していくか非常に難しい課題であると感じている。
- ・地域移行については、地域住民の障理解、大家さんの理解、支援者の伴走方法が難しいと感じた。
- ・差別解消部会において、ポスターの作製を検討したが、内容や啓発先を考えれば考えるほど難しい状態になった。
- ・オンライン会議の普及はメリットを感じた。移動がない分、会議やセミナーに参加しやすい仕組みにもなった。
- ・当事者部会の方が声を上げて、吸い上げられる仕組みが整えられていることはすごいと感じている。
- ・地域移行（退院）は全部会で取り組むべき課題であると感じた。

ワーク2:「今後の協議会活動に向けて（課題と目標）」

ワーク1を踏まえ、今後本協議会が取り組むべき課題と目標などを意見交換する

- ・差別解消に取り組むにあたり、こういった差別と向き合っていくか、またその対象者は誰かといった選定が課題であると感じた。差別解消部会で取り組んだ関東バスとの関係は、向き合う相手（バス運転手）を明確にすることができたため、取り組みやすかったと感じた。
- ・地域で暮らしていく課題は、長期入院の退院促進だけでなく、退院後の生活支援とセットの課題であるのではないか。
- ・部会活動の中で、アンケートなどを実施した結果、理想の支援体制などが見えてきた部分があった。実際の体制とのギャップがある中で、その溝を埋めていく擦り合わせ作業について、今後、どのように進めていくかが課題である。
- ・部会の整理についても今後の課題ではないか。不変的な地域課題（権利擁護など）にどのように取り組んでいくのか。専門部会の考えた方を定期的に整理する機会があるとういのではないかと感じた。
- ・部会員同士の繋がり方の整理が必要ではないか。今回の全体会でしか接点がないので、繋がりをもっと深めていくべきか現状維持がよいのか課題であるように思う。
- ・アンケート調査を実施できたが、個別に抱えている問題や気持ちも異なっているはずなので、もう一歩踏み込んだ個別のインタビュー調査ができなかったことが残念である。

- 地域移行に際して、病院と支援機関の連携を今度どのように整理していくか、武蔵野市独自の役割分担をどう整理していくか今後の課題であるように思う。
- 部会を含めた協議会の活動は、地域の課題を吸い上げて協議していく進め方であると思うが、与えられた課題（ミッション）ありきで進む必要があったので戸惑った部分もあった。
- 差別解消、権利擁護は長期的な課題であるので、継続して取り組むべきだと感じている。
- 「障害」と一括りにされるが、一人一人困りごと異なり、コロナ禍で影響があった内容も様々であったはずである。日常的な困難などをもっと吸い上げられるアンケート内容にできればよかったと感じた。
- 当事者部会だけではできないことも、他部会と協力することでできることが多くなるため、部会の連携は非常に大切であると感じている。